

学校運営協議会 議事録 ※ホームページ掲載用

校名	府立 守口支援 学校
校長名	青木 康子

開催日時	令和 7年 2月 12日 (水) 15:30 ~ 17:00
開催場所	B棟2階 図書室
出席者(委員)	長谷川 陽一会長(桃山学院教育大学教授) 佐々木 幸子副会長(守口市教育センター長)、森口 久子委員(学校医)、盛田 昭一委員(錦コミュニティ協議会会長)、東 恵美委員(門真公共職業安定所統括職業指導官)、藏満 翔子委員(PTA会長、欠席)
出席者(学校)	青木校長(欠席)、古賀教頭、田鶴谷教頭、松岡事務長、下田首席、西川首席、永山首席、坂上高等部主事、南中学部主事、和田小学部主事、堀川健康安全部長、築山進路指導部長、荒木支援自立活動部長代理、大友研究推進部長代理、万代養護教諭(欠席)
傍聴者	0名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 学校教育自己診断集計結果報告 令和6年度 学校経営計画の総括と今後の課題 令和7年度 学校経営計画
備考	

議題等(次第順)

- 1、開会の挨拶
- 2、学校運営協議会実施要項改正について
- 3、学校運営協議会会長挨拶
- 4、令和6年度学校教育自己診断集計結果報告
- 5、令和6年度学校経営計画の総括と今後の課題について
- 6、令和7年度学校経営計画について
- 7、各学部からの教育活動報告
- 8、委員からの質疑応答・意見交換
- 9、閉会の挨拶

1. 開会の挨拶
 - ・校長は別件対応のため欠席しているが、開催自体に問題はない(教育庁に確認済み)。
 - ・コロナ、インフルエンザ、水疱瘡の流行による健康管理への取り組み強化(児童生徒・教職員)。
2. 校運営協議会実施要項改正について
 - ・これまで特定条件下のみオンラインでの会議出席可能であったが、改正後は「規定にかかわらず、会長が認める委員はオンライン会議システムを利用して会議に出席できる」とする(令和7年4月1日より)。
 - ・資料を確認後、委員全体の拍手により改正内容の承認が得られた。
3. 学校運営協議会会長挨拶
 - ・年末に向けた学校教育の意義や、この第三回学校運営協議会が次年度に向けた重要な機会である旨が述べられ、参加者の資料や準備に対して謝辞を伝えた。
4. 令和6年度学校教育自己診断集計結果報告(担当首席)
 - 【教職員アンケート結果】
 - ・対象全員(100%)の回答があり、各項目の目標指数(例:人権啓発、育成体制等)はほぼ全て目標達成。
 - 【保護者アンケート結果】
 - ・回収率は昨年度69.3%から本年度は81.3%へ改善。
 - ・肯定的意見は複数あった一方、目標未達も見受けられた。
 - 【保護者からの意見報告(自由記述)】
 - ・15家庭あり。全ての家庭に電話連絡や来校時に、直接意見聴取を行った。
 - 【今後の対応方針】
 - ・保護者の回答の背景や「わからない」とされた理由の詳細な分析を進め、次年度の改善策を検討する。今後の学校作り、運営に活かしていく。
5. 令和6年度学校経営計画の総括と今後の課題について
 - ・事前の報告(第2回会議において校長より)を踏まえ、自己評価は概ね順調。

6. 令和7年度学校経営計画について

- ・学校教育自己診断結果を踏まえた改善と評価が反映されている。
- ・めざす学校像を「ワクワクを創発する守口支援学校」として刷新。
- ・「ポジティブ・アクティブ・クリエイティブ」をキーワードに、キャリア教育や現場の取り組みの充実を図る。

7. 各学部からの教育活動報告

【小学部】

- ・買い物学習や、シンフォニーホールでのハートフルコンサート・オリックス劇場での劇団公演・天王寺動物園の出前授業・体育館での演奏会等、多角的な芸術体験を実施。

【中学部】

- ・授業の様子：一年生の調理実習前の生活学習、二年生の農作業体験、三年生の作品展での制作活動。

【高等部】

- ・修学旅行報告：東京方面へ二泊三日の修学旅行を実施。
- ・芦間高校の生徒との地域校交流を実施。

【30周年記念式典の進捗状況】

- ・予定：令和7年7月18日（終業式後）に記念式典を開催予定。
- ・準備状況：公式キャラクター（着ぐるみ）の作成、記念品（ボールペン、看板）の制作、オープニング動画および記念誌パンフレットの制作が進行中。
- ・各種記念行事および児童生徒による手作り記念品の制作等、準備を着実に進めていく。

8. 委員からの質疑応答・意見交換

- ・新校務処理システムのシステム構築の様子について確認。
- ・「高等部卒業後の進路」「進路決定までの流れ」をテーマにした研修について、同僚性の中で培われていくことが大切。想定内容を確認。
(進路指導部長)「高等部卒業後の進路」…福祉就労、企業就労、障害者雇用枠の活用等、多岐にわたる進路先を全校の教員に知ってもらう内容。「進路決定までの流れ」…福祉就労に関する話題を中心に関係機関の役割や連携の仕方、福祉事務所の見学や実習の流れを進路決定の最前線に関わる教員と共有している。
- ・学校教育自己診断の教員アンケート回収率100%は先生方の熱心さが伝わる結果。
- ・研修は、集合・時間の確保が難しいと思うが、時間・場所に縛られない共有の工夫ができればいい。
- ・学校教育自己診断等アンケートは、オンライン回収は考えているか。
(教頭) 通信状況等、家庭によっては紙での実施を求めている声もあり、紙でのアンケートを続けている。また、検討する。
- ・作品展は個性的な作品が多く、見ていて感動した。30周年も楽しみにしている。
- ・むつみ祭では実習でのエピソードが盛り込まれていて、いろいろ考えさせられた。生徒の自由な発想や元気いっぱいのダンスに、すごいと感じた。
- ・支援学校のノウハウを一般校にも広げていけたらいい。
- ・小学部のららぽーとへの買い物学習は、自分たちの目的に向かって、初めてのところに行って一つ一つ壁を乗り越えている様子がよくわかった。
- ・中学部の農作業体験は、自分たちの生活力を高めるために、家庭で子どもたちのことをどれだけ思ってもそう簡単に経験させられない体験だと思った。
- ・高等部の地域校との交流はインクルーシブという意味では、非常に望ましい形である。
- ・学校教育自己診断（教職員）の「大規模災害に備え迅速かつ適切な対処ができるよう、対策の検討と整備を行っている」の否定的意見が上がっている理由について確認。
(担当首席) 本年度より大規模災害対応委員会PTを立ち上げ、備蓄食や校内備蓄品の課題について改善に取り組んでいる。
- ・学校教育自己診断（教職員）の「教職員間におけるパワハラ・セクハラ等の人権侵害事象が発生しないために啓発等を行っている」の否定的意見が上がっていることに対して確認。
(教頭) 人権研修等により、人権についてよく考えるようになった結果。校内としては風通しよく、教員同士で話しやすい環境づくりもめざしている。

- ・学校教育自己診断（保護者）の「1人1台端末を効果的に活用している」の目標指数が到達できなかった項目に対して確認。
(総務情報長) 本校は児童生徒数分、端末を配備されていない。限定した使い方、本校でもできる持ち帰る方法も検討していきたい。
- ・医療者としては「持ち帰らない」という方法を推奨したい。タブレットも素晴らしいが本の学びも両立してほしい。
- ・地域の高校との交流で、交流した高校の生徒たちの感想をわかる範囲で教えてください。
(高等部主事) 支援学校の生徒の学び方を知れてよかった等、肯定的な意見が多かった。
- ・大阪教育大学のハートフルコンサートの復活は、子どもたちが立派なホールで鑑賞する機会もなかなかないと思うので、復活すると聞いてすごく嬉しい。

【令和6年度学校経営計画の総括と令和7年度学校経営計画の承認】

- ・委員全体の拍手により令和6年度学校経営計画の総括と令和7年度学校経営計画の承認が得られた。

9. 閉会の挨拶および連絡事項

【閉会挨拶】

(教頭) 本日の議論・質疑に感謝の意が表され、各委員・関係者の協力のもと、来年度もよりよい学校運営を進める決意が示された。また、創立30周年を迎える節目として、児童生徒・保護者・教職員が一体となった学校作りの重要性が強調された。

【諸連絡】

(教頭) 学校運営協議会委員の任期および異動に関して、今後の変更がある場合は、3月末までに連絡するよう依頼があった。

次回の会議日程

日時	令和 7年 7月 11日 (金) 15:30 ~
会場	府立守口支援学校 B棟2階 図書室